

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	平安女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 平安女学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育科	夜・通信	2	—	15	17	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPにて公表している。

<http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/academic-support/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	平安女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人平安女学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部HPにて公開している。また大学の修学支援新制度ページからリンクを貼っている。

法人本部 <http://head.heian.ac.jp/about/organization.html>

大学HP <http://www.heian.ac.jp/about/pdf/List-of-no-member.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司祭・民間保育園園長	～2025年 3月31日	キリスト教関係担当
非常勤	一般社団法人副理事長	～2025年 3月31日	企画担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平安女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人平安女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4月上旬の履修登録ガイダンス期間(例年4月4日頃)から公表している。</p>													
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学公式サイト上で公開している。 以下の URL にアクセス、「ゲストユーザー」ボタンをクリックしてログイン、「シラバス紹介」ボタンをクリックすると、シラバスの検索画面となる。 https://s0003.heian.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p>												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスにおいて、成績評価について「一貫した基準であること」「明確かつ公正であること」「学生の学習意欲を促進させるものであること」に留意し、どのような項目を成績評価の対象とするか、全体を100%とするとその割合はいくつか、を記載するよう全教員に求めており、シラバスの様式として、以下の項目を用意している。</p> <table border="1"> <tr> <td>期末筆記試験</td> <td>期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>期末レポート試験</td> <td>期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>平常点(小テスト)</td> <td>授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>作品</td> <td>授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。</td> </tr> </table> <p>授業担当者は、シラバスに記載した評価方法に基づき、厳格かつ適正に単位の授与を行っている。</p>		期末筆記試験	期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。	期末レポート試験	期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。	平常点(小テスト)	授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。	成果発表	授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。	作品	授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。	その他	上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。
期末筆記試験	期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。												
期末レポート試験	期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。												
平常点(小テスト)	授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。												
成果発表	授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。												
作品	授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。												
その他	上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。												

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すG P A (Grade Point Average) を算出する。算出式は次の通りである。

$$G P A = \frac{\text{(履修登録科目のグレード・ポイント} \times \text{単位数) の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N (認定) はG P Aの評価の対象とはしない。

評点	100~90	89~80	79~70	69~60	59~0	失格
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学公式サイト上で公開している 2020 年度学生便覧の「6. 成績と単位認定」にG P Aについて記載している。 http://www.heian.ac.jp/student/class/requirements/
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、大学全体の学位授与の方針（ディプロマポリシー）と学部ごとのディプロマポリシーをそれぞれ規定している。

○平安女学院大学短期大学部の学位授与の方針

- キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間に育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成しています。卒業までに以下の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生は卒業が認定されます。
- 社会人としての基礎知識である、平安女学院独自の「ジェネリックスキルズ」を学習し、さらに文部科学省「学士力」、経済産業省「社会人基礎力」を補強する。
- 建学の精神を体得した人間の姿として 躰（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）という3つの資質を備える

○保育科のディプロマポリシー

1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と豊かな教養を有している。
2. 子ども、保護者、同僚など、他者とのコミュニケーションを円滑にとることができる。
3. 子どもに対して深い愛情を持ち、社会人としての自覚と責任感を持っている。
4. 保育に関わる深い知識と実践的な技能、自主性や礼儀作法を有している。
5. 幼児教育に対する使命感と情熱を持ち、意欲と向上心を持って社会に貢献できる

このディプロマポリシーを達成するために必要な科目を配置したカリキュラムが組まれていることから、卒業判定においては、学則第13条における「学長は、本学に2年以上在学して、第6条に定める単位を修得した者に対して、教授会の議を経て、卒業を認定する。」との規定に従い、卒業判定教授会において、各学生の在学年数および単位修得状況について確認し、学長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページにて公開している。
<http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	平安女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人平安女学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和2年度>貸借対照表 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
収支計算書又は損益計算書	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和2年度>収支計算書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
財産目録	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和2年度>財産目録 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
事業報告書	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和2年度>事業報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
監事による監査報告(書)	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和2年度>監事の監査報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法: 学校法人平安女学院ホームページ 中期経営計画 平安女学院中期経営計画(2020年度~2024年度) http://head.heian.ac.jp/about/plan.html	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学HPの情報公開ページ、自己点検・評価報告欄にて掲載している。
<http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/self-assessment/>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育科
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP にて公表している） http://www.heian.ac.jp/learning/child/
（概要）子どもに寄り添い、子どもを理解し、子どもを心から大切にできる保育者になる。そのために学生自身がお互いを尊び、温かい人間関係を築くことを重視しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している。） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
<p>（概要）大学全体としての方針は様式第 2 号の 3 にも記載しているとおり。キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間に育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成しています。卒業までに以下の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生は卒業が認定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基礎知識である、平安女学院独自の「ジェネリックスキルズ」を学習し、さらに文部科学省「学士力」、経済産業省「社会人基礎力」を補強する。 ・建学の精神を体得した人間の姿として躰（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）と いう 3 つの資質を備える。 <p>保育科のディプロマポリシーは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と豊かな教養を有している。 2. 子ども、保護者、同僚など、他者とのコミュニケーションを円滑にとることができる。 3. 子どもに対して深い愛情を持ち、社会人としての自覚と責任感を持っている。 4. 保育に関わる深い知識と実践的な技能、自主性や礼儀作法を有している。 5. 幼児教育に対する使命感と情熱を持ち、意欲と向上心を持って社会に貢献できる <p>このディプロマポリシーを達成するために必要な科目を配置したカリキュラムが組み立てられていることから、卒業判定においては、学則第 13 条における「学長は、本学に 2 年以上在学して、第 6 条に定める単位を修得した者に対して、教授会の議を経て、卒業を認定する。」との規定に従い、卒業判定教授会において、各学生の在学年数および単位修得状況について確認し、学長が卒業を認定している。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広く深い教養と豊かな人間性を涵養する「教養科目」として、言語科目等の基礎科目と幅広い教養を身につける教養展開科目で構成する。 2. 社会的基礎力を涵養するためクラス担任制を導入し、きめ細やかな個別指導を行う。「キャリア形成科目」で、社会人としての基本的な礼儀作法やコミュニケーション

ョンを身につける。

3. 「実習科目」を置き、実習での子どもとの出会いをもとに子どもに対する愛情や幼児教育に対する使命感等を喚起する。

4. 「教育系科目」「福祉系科目」「心理系科目」を置き、幼児理解や幼児教育に関する理解を深める。

5. 保育系科目」「保育関連科目」「基礎技能科目」を置き、体験知を専門的知識と結びつける実践的な指導を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学HPにて公表している）

<http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/>

（概要）

1. 教育・保育・福祉の現場で専門職として活躍することに強い意志を持つ方。
2. もに対する細やかな心遣いと温かい触れ合いを何よりも大切と考え、その専門知識を、深め、技能を身につける意欲を持つ方。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HPにて公表している。

<http://www.heian.ac.jp/about/organization/univ/#unei>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
保育科	—	2人	1人	0人	3人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
2人			15人				17人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：HPにて公表 http://www.heian.ac.jp/learning/child/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科	人	人	%	80人	46人	57.5%	人	人
合計	人	人	%	80人	46人	57.5%	人	人
(備考) ※2021年4月から募集停止。2021年度は2年次のみ在籍								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	76人 (100%)	3人 (4%)	63人 (83%)	10人 (13%)
合計	76人 (100%)	3人 (4%)	63人 (89%)	10人 (13%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4月上旬の履修登録ガイダンス期間（例年4月4日頃）から公表している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すG P A（Grade Point Average）を算出する。算出式は次の通りである。 $G P A = \frac{\text{履修登録科目のグレード・ポイント} \times \text{単位数の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$ グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N（認定）はG P Aの評価の対象とはしない。														
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>100～90</td> <td>89～80</td> <td>79～70</td> <td>69～60</td> <td>59～0</td> <td>失格</td> </tr> <tr> <td>グレード・ポイント</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格	グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0
評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格								
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0								
<table border="1"> <tr> <td>学部名</td> <td>学科名</td> <td>卒業に必要となる単位数</td> <td>G P A制度の採用 (任意記載事項)</td> <td>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育科</td> <td>64単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </table>	学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)		保育科	64単位	有・無	単位				
学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)										
	保育科	64単位	有・無	単位										
G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：													
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：													

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 大学HPにおいて、両キャンパスの紹介ページを設けて、キャンパスマップや施設についても掲載している。 http://www.heian.ac.jp/about/facility/takatsuki/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	学年	授業料 (年間)	入学金	施設設備整備費	合計
	保育科	1年	930,000円	100,000円	170,000円	1,200,000円
		2年	930,000円	-	340,000円	1,270,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、学生の修学支援に関して以下について公表している。</p> <ul style="list-style-type: none">・ クラス担任制度 本学では教員によるクラス担任制を導入し、学生生活全般にわたって学習指導や学生相談にあたっており、各学期当初にはクラス担任による個人面談を行っている。欠席数の多い学生に対しては、クラス担任が面談等による個別指導を実施しており、きめの細かい対応を心掛けている。また、オフィスアワーの時間も活用して、学生の個別相談に応じている。・ 図書館による学習支援 図書館では学生の学習支援のために、図書館利用ガイダンスを実施している。これは新入生に図書館の利用方法や資料収集の基礎的な知識を修得させるための講習である。また、3年生に対しては、卒業研究を視野に、論文検索演習を実施している。授業担当の教員からの要請があれば、学年や学科に応じた個別のプログラムも提供しており、個別の相談には常時、カウンターでレファレンスに応じている。なお、図書館の閉館時間は授業終了後も学習可能となるよう19時に設定している。・ 情報関連の学習支援 京都キャンパスと高槻キャンパスにそれぞれ情報処理演習室を置き、授業時間以外は学生に開放してあり。トラブルや操作上の質問事項には、隣室に常駐する職員が対応している。・ 学生の意見を汲み上げるシステム 学生からの学習に関する要望は、クラス担任、事務部教務チーム、学生サービスチームの各窓口で受け付けている。また、「授業評価アンケート」や「学生生活の満足度調査」を実施し、学生のニーズの把握に努めている。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアサポートセンターでは、就職活動に必要なことが段階的に身に付くようプログラムした「就職ガイダンス・講座」をはじめ、「個別相談・面談」「学内企業セミナー」「資格検定支援講座と団体受験」「筆記試験対策講座」などを実施し、学生により多くの「気づき」の機会を提供してあり。また、教職員が連携しながら、一人ひとりの「社会で通用する強み」を育成・支援している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の悩みの相談として保健室にいつでも気軽に利用できるよう女性のカウンセラーと看護師が常駐してあり。また臨床心理士が相談にのっている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：大学HPにて公開している。 http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/publication/</p>
